

○観光会館・日本土人形資料館のあり方について

1 設置目的

観光事業の振興を図るため
(中野土人形と全国の土人形の展示と絵付け体験の普及)

2 事業概要

指定管理者による管理運営 (信州なかの産業・観光公社)
木曜日定休

- ・施設管理運営事業
- ・自主事業 (絵付け体験教室、企画展開催等)
- ・指定管理料 8,023,888円 ・指定管理期間 令和元年度から令和5年度まで

3 施設の概要

設置 (昭和62年) ※設置時は市の直営

敷地面積 (2292.11㎡)

鉄筋コンクリート造平屋建 (延床面積515.65㎡)

- ・展示室、体験室、茶室、会議室、トイレ、事務室、倉庫、前庭、駐車場

開館時間 午前9時から午後5時まで (資料館)、午前9時から午後9時まで (会議室・茶室)



4 収支の状況 (決算額) 及び利用者数

年度		収入	支出	差引	合計収支
H31年度	指定管理	7,950,987	9,005,336	-1,054,349	299,745
	自主事業	2,568,443	1,214,349	1,354,094	
R2年度	指定管理	8,023,944	8,397,630	-373,686	231,139
	自主事業	1,796,834	1,192,009	604,825	
R3年度	指定管理	8,023,944	8,929,956	-906,012	41,159
	自主事業	1,533,471	586,300	947,171	
R4年度	指定管理	8,023,888	8,963,224	-939,336	139,387
	自主事業	1,809,909	731,186	1,078,723	

利用者数			
	来館者	絵付け体験者	合計
H27年度	8,421	2,751	11,172
H28年度	6,768	2,482	9,250
H29年度	7,223	2,509	9,732
H30年度	7,621	1,375	8,996
H31年度	5,393	2,037	7,430
R2年度	2,727	701	3,428
R3年度	2,611	651	3,262
R4年度	4,434	1,161	5,595

5 現況・課題

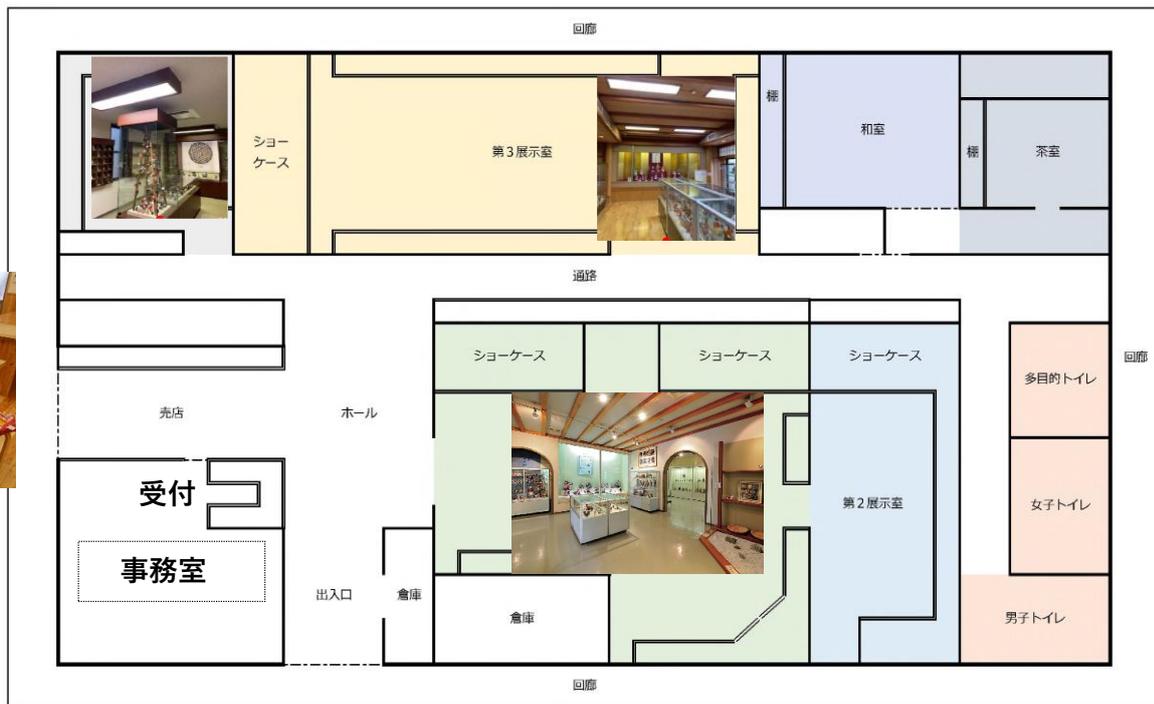
当施設は、中野土人形をはじめ、全国から集められた2,000点にも及ぶ土人形を展示する専門ミュージアムである。【在庫数：中野人形280点、立ヶ花人形130点、全国8,200点 ※展示分を含む】

また平成21年度には、絵付け体験棟を増築し約40名が一度に体験できる施設となっている。

本市には、江戸時代からの歴史を持つ中野人形 (奈良家) と明治時代からの歴史を持つ立ヶ花人形 (西原家)、2種類の土人形が伝承されている。流入経路も特徴も異なる2つの系統の土人形が昔ながらの伝統技法で現在も同一地域で作られている例は全国をみても類がないといわれており、伝統文化の継承及び後継者育成の場として、また土人形の里として全国に発信していくために必要な施設である。

しかし、コロナ禍を経て出張絵付け体験の件数が伸びたことにより来館して体験する者が減少していること、また、立地条件 (街中施設でないこと) 等により、施設の効果的な活用とより多くの来館者を生み出すことが課題となっている。

■施設配置図



○まちなか交流の家のあり方について



1 設置目的

土人形の振興を通じて市街地の活性化に資するため、まちなか交流の家を設置する。

2 事業概要

指定管理者による管理運営（なっちょ合同会社）水曜日定休

- ・施設管理運営事業
- ・自主事業（絵付け体験教室、売店事業、イベント出店事業）
- ・指定管理料 8,738,480円 ・指定管理期間 令和3年度から令和5年度まで

3 施設の概要

設置（平成19年度）※設置時は市の直営

敷地面積（393.91㎡）

鉄骨造2階建（延床面積199.07㎡）

- ・体験室、焼窯室、トイレ、台所、事務室、駐車場

開館時間 午前9時から午後5時まで

4 収支の状況（決算額）及び利用者数

年度		収入	支出	差引	合計収支
R3年度	指定管理	8,738,480	8,740,369	-1,889	769,358
	自主事業	1,656,420	885,173	771,247	
R4年度	指定管理	8,738,480	8,884,301	-145,821	-171,322
	自主事業	2,467,731	2,493,232	-25,501	

	利用者数		
	来館者	絵付け体験者	合計
H27年度	2,370	1,201	3,571
H28年度	2,202	994	3,196
H29年度	856	1,265	2,121
H30年度	1,055	1,184	2,239
R元年度	745	1,439	2,184
R2年度	568	885	1,453
R3年度	952	1,342	2,294
R4年度	1,039	1,653	2,692

※R3～ 指定管理者による管理運営

5 現況・課題等

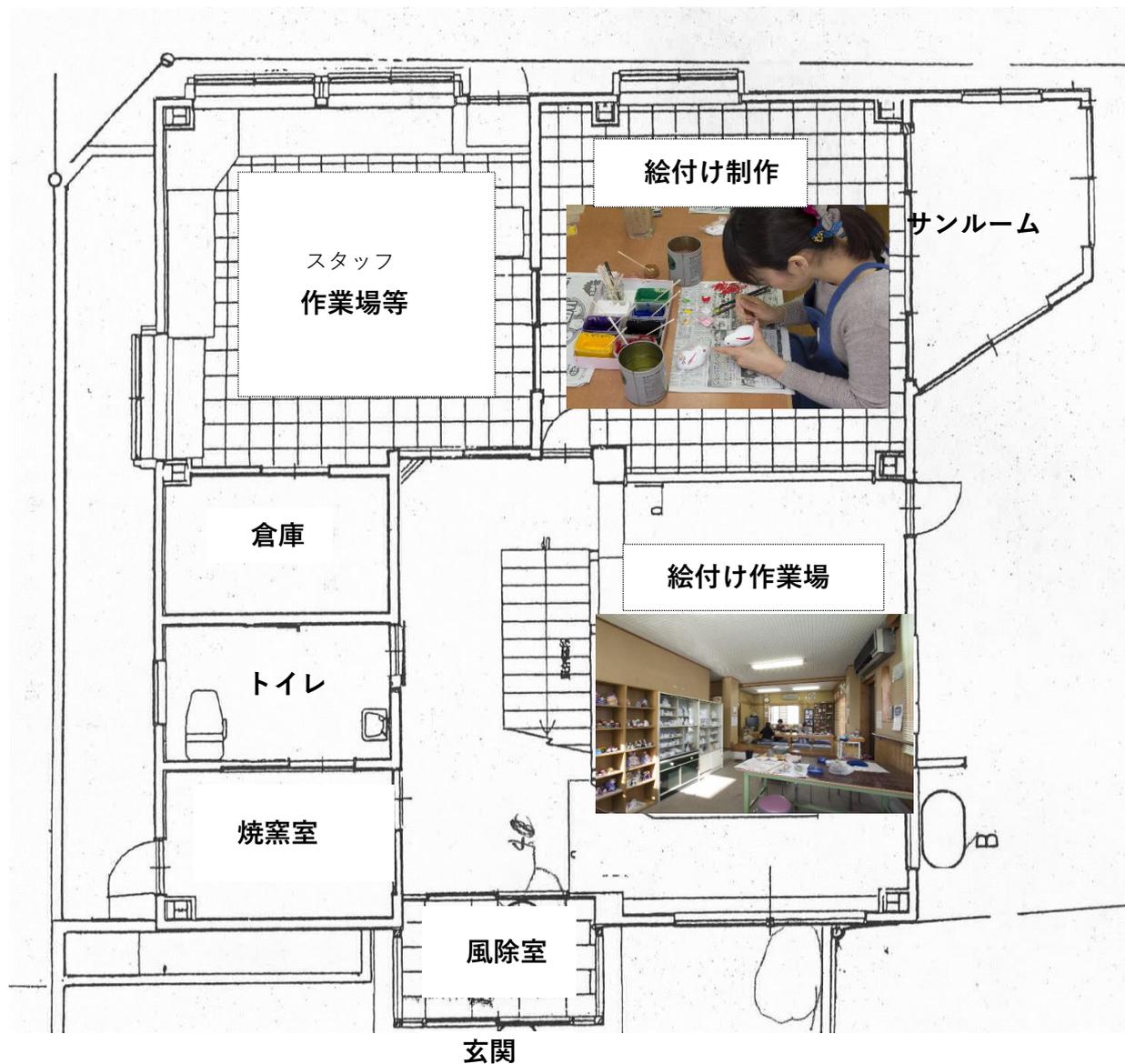
当施設は、中心市街地の魅力を高め、人々が集い交流しにぎわいあふれるまちづくりのため既存施設の利活用により整備、土人形の振興も施設の設置目的であり焼窯室を設けているのが特徴。

土人形の里として、創作土人形の制作をはじめ、伝統文化の継承（後継者育成）にも力を入れているため、絵付け体験される人が大半であるが施設の構造上、利用者の人数に限られる。

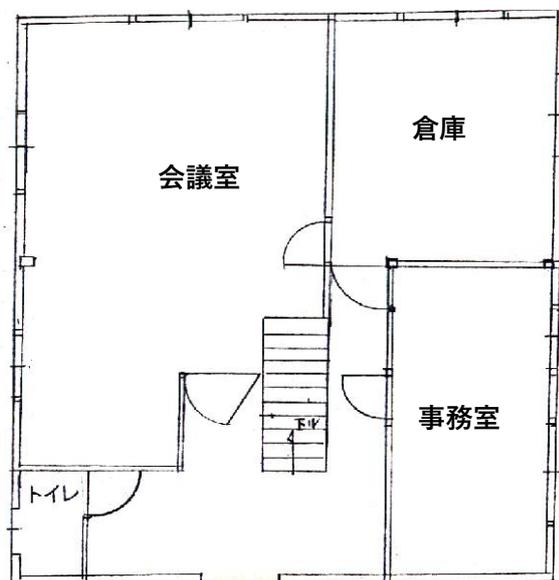
構造上の問題及び絵付け体験者のニーズの変化により、小学校や各種団体による「出張絵付け教室」が増え、施設への来館者が減少傾向となっている。

また、設置目的である施設の市街地活性化に向けた事業展開も難しく成果として数字が出にくい状況。新たな事業展開が必要不可欠と考えている。

■施設配置図
(1階)



■施設配置図 (2階)



○中野市観光特産館（信州中野観光センター）のあり方について

1 設置目的

恵まれた自然条件及び地域特性を生かした観光並びに地場産業の振興を図る。

2 事業概要

指定管理者による管理運営
(信州なかの産業・観光公社)

無休会館

- ・施設管理運営事業
- ・自主事業（アンテナショップ事業、売店事業、イベント事業）
- ・指定管理料 9,732,962円 ・指定管理期間 令和元年度から令和5年度まで



3 施設の概要

設置（平成7年度）、敷地面積（1,254.61㎡）

鉄筋造平屋建（延床面積298.75㎡）

- ・ホール、事務室、トイレ、倉庫、駐車場

開館時間 午前9時から午後6時まで

4 収支の状況（決算額）及び利用者数

年度		収入	支出	差引	合計収支
R元年度	指定管理	9,664,530	11,197,727	-1,533,197	203,517
	自主事業	14,933,935	13,197,221	1,736,714	
R2年度	指定管理	8,199,813	10,304,324	-2,104,511	207,259
	自主事業	19,342,834	17,031,064	2,311,770	
R3年度	指定管理	9,733,018	11,618,482	-1,885,464	535,774
	自主事業	16,658,600	14,237,362	2,421,238	
R4年度	指定管理	9,733,010	11,849,547	-2,116,537	247,719
	自主事業	17,391,853	15,027,597	2,364,256	

利用者数			
H17年度	26,797	H26年度	37,667
H18年度	31,657	H27年度	38,709
H19年度	30,235	H28年度	38,780
H20年度	30,935	H29年度	33,913
H21年度	48,065	H30年度	33,403
H22年度	44,075	R元年度	32,493
H23年度	44,592	R2年度	18,160
H24年度	41,207	R3年度	19,351
H25年度	40,872	R4年度	24,424

5 現況・課題

当施設は、観光案内をはじめとした地域の紹介や地場製品の展示等により、積極的に中野市のPRを行う目的で設置しており、インターの近くで立地条件が良い。

これまで観光PRはもとより地域産業振興のためアンテナショップを開設し、特産品の販売、創作土人形の制作、フリーマーケットの開催等、様々な事業を行っているところである。

近年は従来からのパンフレット等による紙媒体での情報発信から、インターネットやSNS等を通じた情報発信が主流となっているため、設置目的である「地域特性を生かした観光」、「地場産業の振興」がどこでも取り入れられる状況であり、実際に来館して観光案内したり問い合わせを行う人は、高齢の方が多く減少傾向にある。

今後は、豊富な農産物と特産品の特徴を生かし、施設を有効に活用した運営と積極的な観光PRが必要である。

■施設配置図

